世界の文化遺産になった

日本の伝統「風流踊」❸ 中国・四国・九州〜平戸のジャンガラほか

もくじ

4 風流踊の伝統を守る

8 平戸のジャンガラ
（長崎県平戸市）

10 津和野弥栄神社の鷺舞
（島根県津和野町）

14 白石踊
（岡山県笠岡市）

16 大宮踊
（岡山県真庭市）

18 西祖谷の神代踊
（徳島県三好市）

20 綾子踊
（香川県まんのう町）

22 滝宮の念仏踊
（香川県綾川町）

24 感応楽
（福岡県豊前市）

26 大村の郡三踊
（長崎県大村市）

28 対馬の盆踊
（長崎県対馬市）

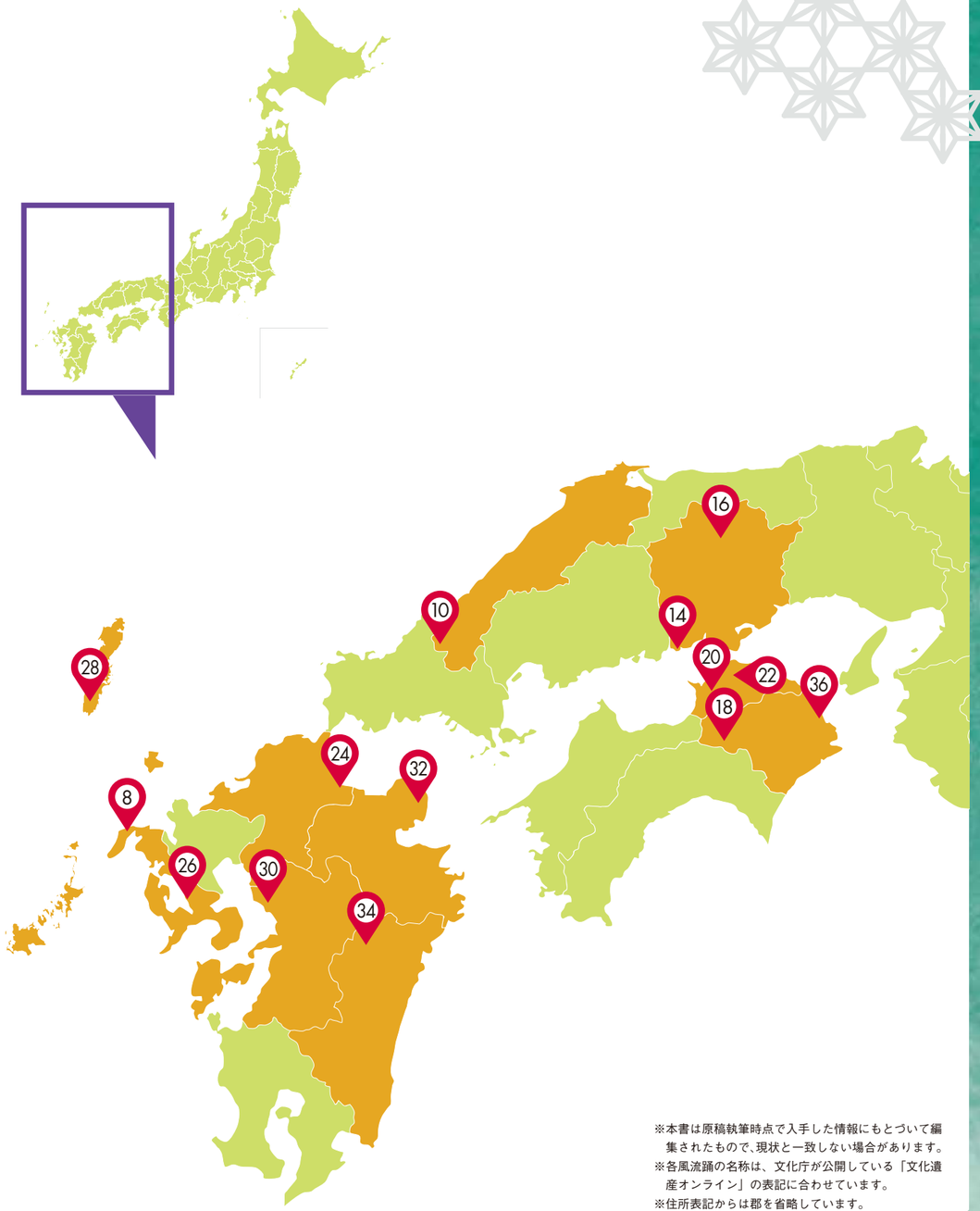
30 野原八幡宮風流
（熊本県荒尾市）

32 吉弘楽
（大分県国東市）

34 五ヶ瀬の荒踊
（宮崎県五ヶ瀬町）

36 日本三大盆踊のひとつ
阿波おどり
（徳島県徳島市）

38 調べて参加してみよう！



※本書は原稿執筆時点で入手した情報にもとづいて編集されたもので、現状と一致しない場合があります。
※各風流踊の名称は、文化庁が公開している「文化遺産オンライン」の表記に合わせています。
※住所表記からは郡を省略しています。

furyu3.indb 2-3 2023/10/04 12:28

踊ってみよう！

「鷺舞」の踊り方

❶

❶ はじめに右足から３歩前に歩き、右足を左ななめ後ろに引いて、体の方向を変え、向かい合って両方の羽を広げる。

【唄】「はしのうえに、おりーたー」
「とーりは、なーんどーり、
かーわ、ささーぎーのー」

❷

❷ 右足から３歩進んで互いに寄り合い、右足を左ななめ後ろに引く。この時、右の羽を上げる。

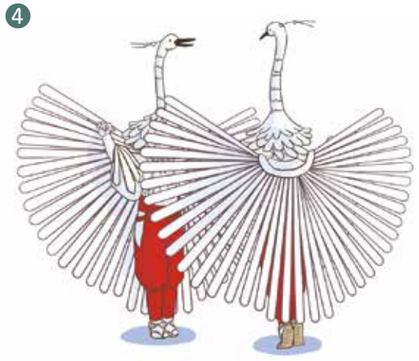
【唄】「かーわ、ささぎーのー、(※)
やあー、かーわささぎ」

❸

❸ 前方に弧を描くように歩きながら雄鷺が雌鷺を追う。

【唄】「さーぎがはーしを、わーたいた、
さーぎがはーしを、わーたいた」

❹



❹ 向かい合ったまま両羽を上げて広げ、３歩進む。

【唄】「しぐれの、あーめにぬれ、
とーりとーり (※にもどる)」

❺

❺ 3歩下がり、弧を描いて歩きながら雄鷺が雌鷺を追い、羽を優しく雌鷺の肩にのせる。

【唄】「しぐれの、あーめに、ぬれとーり、
とーり、ヤァ」

戦後に加わった「子鷺踊り」

1958（昭和33）年、伝統的な鷺舞に加えて、新しく「子鷺踊り」も演じられるようになりました。小学校４年生から６年生までの子どもたちによる行列で、７月20日の「渡御」と27日の「還御」の両日、鷺舞に花をそえる形で、白の上衣に赤い袴姿の子どもたちが、お囃子に合わせてかわいらしい踊りを披露します。

子どもたちによる「子鷺踊り」は昭和時代にはじまり、すでに60年以上の歴史があります。

津和野町ってどんなところ？

島根県の南西部、山にかこまれた盆地に広がる津和野町は、歴史を感じさせる古い城下町の町なみが残され、「小京都」とも呼ばれます。

町内を流れる高津川は、日本有数の清流として知られています。この川のきれいな水をいかして栽培されたワサビや、アユを使った食品などが特産品として人気を集めています。

津和野の町なみ

ワサビ

資料・写真提供：津和野町教育委員会、島根県観光連盟、津和野町観光協会

furyu3.indb 12-13 2023/10/04 12:28

津和野弥栄神社の鷺舞

◉島根県津和野町

「津和野弥栄神社の鷺舞」は、弥栄神社大祭で奉納される踊りです。その歴史は今から450年以上も前の室町時代にまでさかのぼり、京都の祇園会（今の祇園祭）で演じられていた鷺舞が、津和野の弥栄神社でも奉納されるようになったのがはじまりと伝えられています。

鷺舞は、弥栄神社大祭でみこしの巡行とあわせて奉納されます。7月20日は本社から御旅所までみこしが向かう「渡御」の際に、27日は御旅所から本社にみこしが帰る「還御」で、それぞれ町内の各所で鷺舞が行われます。

日程 毎年7月20日、27日

場所 島根県津和野町　弥栄神社

鷺舞を伝えた大内氏

京都の祇園会で行われていた鷺舞は、今の山口県にある八坂神社に伝えられ、のちに津和野に伝わりました。山口に伝えたのは、当時の大名・大内氏とされています。大内氏は学問や芸能、西洋文化までも取り入れ、発展させたことで知られています。

どんな踊り？

鷺舞は、踊りの中心となる2人の鷺舞役者をはじめ、悪魔ばらいをする赤毛の棒振り、腰に小太鼓を着けた道化役の羯鼓が舞方となり、これに笛や小鼓、太鼓や鉦を鳴らす囃子方が加わります。

舞方と囃子方は、「御神幸」と呼ばれる行事で行われるみこしの行列の後から続き、20日は町内の11か所、27日は9か所で、昔ながらの優雅な踊りを披露します。

昔は62名という大人数だった「御神幸」の行列ですが、現在は規模を縮小して行われています。鷺舞を踊る舞方と囃子方は、御旅所や本社へのみこしの到着よりも遅れて、後を追いながら町内の各所で踊ります。

雌雄2羽の鷺の扮装

鷺舞の中心となる2人の鷺舞役者は、雌雄2羽のサギの扮装をします。頭は重さ約3kgもあり、首を振るのもたいへんです。サギの羽は、大小39枚の白くぬられたヒノキの板を扇形につなげたもので、その重さは約12kgあります。その羽を広げるようすは、実に優雅です。

頭と羽を合わせると、およそ15kgにもなる鷺舞役者の衣装。2人が向かい合い、大きく羽を広げるようすは数百年間変わらない美しさです。

furyu3.indb 10-11　2023/10/04 12:28